

カンデラから本物のアーム式テレビのご提案

mobv16



CANDELA
MediaTech

カンデラのアーム式テレビは、 “動かす”ために開発しました。

カンデラの「mobvシリーズ」(MV133HW 3) は、2017年に透析環境下で快適に映像を視聴することを目的に、アームに取り付けて

“動かす”テレビとして国内にて専用開発致しました。

おかげ様で、20,000台以上現在お使いいただいております。

そして、2022年 カンデラのテレビを“動かす”ためのアームをテレビ同様に国内にて専用開発致しました。「mobvl6」(モヴィルシックス)と言います。

カンデラのアーム式テレビは、快適にテレビ映像を視聴できることは当然で、いかに機器トラブルを減らして現場スタッフのご負担を減らすかを考えた製品です。そしてカンデラ以外のほとんどのテレビが、据置型のテレビとして設計されており、強度の無いテレビをアームに取り付けているものが一般的となっております。

本物のアーム式テレビは、カンデラの「mobvl6」だけです。



6軸（自由度）のフレキシブル性能

さまざまな姿勢でテレビを視聴できるように設計しております。

アーム式テレビは、ベッドや透析チェア、カウンターや壁取付など、さまざまな環境でご使用いただけます。

横になったまま、画面を最適な位置へ“動かす”ことができ、体制を変えることが困難な透析中や入院中の患者さんに快適なテレビ環境を提供します。



こだわりのポイント

美しいデザイン

テレビ本体からアームの根元まで、配線はほぼ隠蔽されています。凹凸も極力無くし、クリーニングもしやすいデザインにしました。

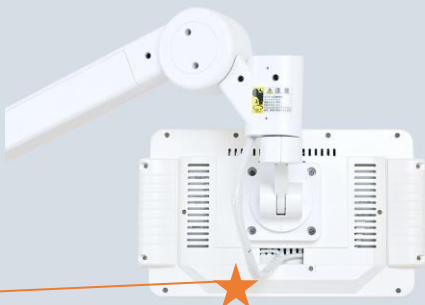


信号減衰リモコン

透析室など隣とのベッドの間隔が狭い環境でも信号の干渉がしにくくなっております。通常信号の1/3に減衰しております。

安心安全の国内設計

mobvl6は全て国内開発設計をしております。テレビのSoC(システムオンチップ)に東芝LSIを採用し、ソフトウェアからハードウェアの細部にまで拘りました。



軽量化を実現！

アーム部には、アルミ鋳造・マグネシウム鋳造部品を適所に使用し、強度を維持した上で総重量約4.6kgの軽量化を実現しております。

ねじれ強度がすごい！

通常のテレビは、据え置き型で設計されているためにシャーシレス構造になっております。液晶パネルがシャーシの役割をしているため、両手でテレビを動かした際にパネルの故障に繋がります。mobvl6のテレビは、パネル用のシャーシとメイン基板用のシャーシのダブルシャーシ構造のため、対角強度、約100kgの負荷が加わっても、パネルやメイン基板に影響を与えることはありません。2022年5月現在、カンデラだけのオリジナル設計です。



操作しやすい！

テレビの操作は、リモコン以外にテレビ前面のボタンで操作が可能です。イヤホン挿入口も前面にあるので非常に便利です。また、イヤホンが抜けてしまった際に、大音量がスピーカーから出力しないようにするスピーカーガード機能を搭載しております。



標準取付金具

mobvl6は、機器の有効利用を促進しております。

mobvl6の標準オプションは、全て回転規制(可動範囲左右88度)を搭載しております。
安全にご使用いただけるだけでなく、配線の巻きつきによる断線などのトラブル防止にもなり、機器トラブルの減少につながります。

また、SDG s の取り組みの一環として、既存の他社製取付金具をそのまま使用できるように致しました。(EIZO株式会社 FlexView)

mobvl6の取付金具類に、FlexViewのアーム式テレビをそのまま接続することも可能です。



カウンターランプユニット



ウォールランプユニット



ベッドランプユニット (小)



ベッドランプユニット (大)



低床型フロアスタンド

